



この1枚でつながり、つなく



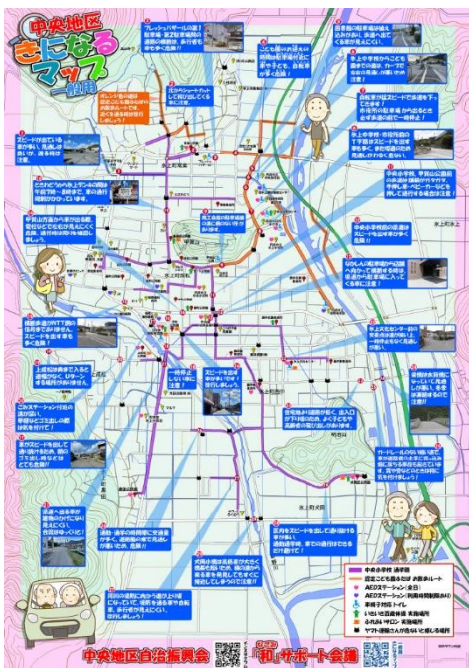
3月8日、中央地区支えあい推進会議(※1)中央地区「和サポート会議」で令和4年度から取り組んでこられた『中央地区きになるマップ』が完成し、関わった多くの団体のみなさんで完成のお披露目と記念撮影会が行われました。

このマップは、メンバーから出た「道路の白線が消えかかっており、弱視の方が溝に落ちてしまったことがあった」という意見がきっかけで取り組みが始まりました。

中央小学校の児童やPTA、認定こども園ふたば、ヤマト運輸、ケアマネ連絡会、関西大学生、高校生など様々な団体等の関わりと地域の集いの場に参加されている高齢者からの情報を集めながら作成されています。

完成後は、「きになるマップ」の下敷きやクリアファイルを作り、中央小学校の新1年生に渡されます。またマップを中央地区の企業等に配り、業務中や通勤時などに気を付けて運転してもらえよう呼び掛けなどされる予定です。

「きになるマップ」を通して、多くの人や団体がつながり、これからもまたつながっていく、そんな1枚になったのではないかと思います。



支えあい推進会議

氷上地域各地区での話し合いのようす



※1 支えあい推進会議とは：支えあいの地域づくり向け、地域の多様な主体がメンバーとなり、話し合う場の事です。



幸世地区できょうようときょういく

2月26日に『ふれあいサロンきぬやま』へ3月1日には『鴨内ふれあい・いきいきサロン』で出張ふくし教室を行いました。

どちらのサロンでもフレイル(※2) 予防のお話や脳トレ体操をしました。そこでお話したのがフレイル予防で重要なこと「きょうよう」と「きょういく」です。教養と教育ではなく「今日用事がある(きょうよう)」「今日行くところがある(きょういく)」です。予定をたて順序だてて準備をする。日々の何気ない行動に見えますが、とても脳の運動になっています。

『ふれあいサロンきぬやま』と『鴨内ふれあい・いきいきサロン』に参加されていたみなさんは「きょうよう」と「きょういく」ばっちりですね😊



※2 健康状態と要介護状態の中間の状態

♥ 善意の気持ちを子ども食堂へ ♥

青垣町にあるくまゆき農園さんから「子ども食堂さんで使ってください」と沢山の野菜をお預かりして、子ども食堂のボランティアさんにお渡ししています。

お渡しした野菜は、ボランティアさんたちがお味噌汁に入れたり人参シリシリやグラッセなどに調理され地域の方々の元気の源になっています。



くまゆき農園さん



中央にここキッチン



さちよふれあい食堂



ぬめぎ子どもふれあい食堂

みんなの気持ちを届けます 🐦

氷上中学校ボランティア委員会の生徒たちが集めてくれた能登半島地震災害義援金を預かりました。

皆さんが集めてくださった義援金は、兵庫県義援金募集委員会を通じて被災された方々に届きます！



令和6年4月1日より、社協氷上支所の名称が変わります！！

「西部支所」に変更になります。※所在地や電話番号は変更ありません。

令和6年4月1日から、職員の業務効率化を図り、より効果的に地域の支援に関われるよう社協組織を改編し、支所を圏域化します。

窓口業務はこれまで通り行いますのでお気軽にお越しください。

